



「学習と部活動の両立」に取り組む、大村高校の様子をお知らせします。

大高インフォメーション

ホップステップ **JUMP!**

〒856-0835 長崎県立大村高等学校 大村市久原 1-591 TEL.0957(52)2660

<https://www.news.ed.jp/omura-h/>



今年も大村高校は熱い

**全国高等学校総合文化祭
放送部門（アナウンス）**



優秀賞（最高賞）

山口雄大（3年7組 千綿中出身）



大高の教育を止めない

長崎県立大村高等学校
校長 原 昌 紀

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、高校総体をはじめ多くの大会やコンクールが中止となりました。本校においても学校行事の中止や変更を余儀なくされ、生徒たちは新しい生活様式を意識しながら高校生活を送っています。

そのような状況の中、9月には体育祭を実施しました。今年の体育祭のテーマは「大志創生～ The show must go on ～」。コロナ禍における実施ということで、無観客、プログラムの大幅変更という制限された中での開催でしたが、体育祭テーマのごとく、何としても体育祭を成功させようという決意で、生徒たちは全力で競技し、見事な演技を披露してくれました。おおむらケーブルテレビ様のご協力により、体育祭の様子を大村市内や諫早市において放映していただいたのですが、他校の先生方からも、「体育祭の様子、ケーブルテレビで観ました。生徒も頑張っていましたね。特に最後の団結エールでの各部長の言葉に感動しました。」というお言葉をいただきました。体育祭は学校ごとに特色があり、学校文化の一つです。その文化は、3年生から1・2年生へしっかり引き継がれたものと思います。

また、五教祭については、今年は部門毎に日を分けての開催となり、今月13日に学年発表とファッションショーを開催しました。「ショウ展～ Keep smiling in our space ～」をテーマに工夫をこらした展示や発表でした。1年生は年度初めに皆で作ったクラス目標や五教祭のテーマを基にしたクラス発表をリモートで行いました。今年度後半に入りクラスの目標や団結を確認する良い機会となったと思います。2年生のモザイクアートはどのクラスも「すごい!」と思わず声が出るほどの力作ばかりでした。そして、3年生家政科によるファッションショー。体育祭の準備や検定、入試の準備に追われる大変な中、あれだけ見事な作品を作り上げる本校家政科は、やはり全国に誇る伝統校であることを実感した瞬間でした。体育祭と五教祭、まさに「大高の底力」を実感した一学期でした。

これまで経験したことのない日々を追われる今年は、特別な1年だとよく言われます。しかし、生徒たちにとってはかけがえのない1年です。3年生は、高校生活最後の1年であり、1・2年生にとってもその学年は今年しか経験できない貴重な1年です。「特別な1年だった」だけではすまされません。感染予防対策を十分行いながら、その中で動きを止めずに、生徒たちにとって充実した教育活動を実践していきたいと思っています。2学期は、努力の実を結ぶために重要な学期です。学習や運動にも集中して取り組める時期です。皆さんが、学びを止めず、部活動や生徒会活動を止めず前へ進み続けることを期待しています。

SSH 活動紹介

課題探究発表会

第3学年

7月20日(月)、SSH1期生である3年生課題探究発表会を開催しました。指導助言をいただく8名の先生方をお迎えし、新型コロナウイルス感染予防のため、ポスター発表を3会場に分け、代表による口頭発表は教室と会議室での視聴という形態での実施となりました。

発表者の3年生は、緊張した面持ちながら、20名ほどの視聴者に、動機・実験観察などのデータ収集・考察・結論を堂々と発表していました。発表後の質問に、真剣に対応する姿が印象的でした。会場の各所で、発表に対して視聴者から拍手が送られていました。これ、2年生にとって、1からの各自の課題探究の大きな参考となりました。

口頭発表の代表3グループは、会議室にて、運営指導委員の先生方や外部参観者を前に、発表を行いました。また、生徒は、各教室にて、事前に録画されたDVDにより、代表3グループの口頭発表を視聴しました。本来ならば、多くの視聴者の前で発表でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため、分散しての実施となりました。



科学探究講座

第2学年

8月5日(水)、数理探究科2年生を対象に、三菱長崎機工株式会社より岸田隆生先生をお招きし、科学探究講座を実施しました。これは、研究・開発の現場で活躍されている専門家の方をお招きし、研究・開発の考え方や手法の一端を知り、自らの探究の幅を広げるために実施するものです。当初は、3月と5月に実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で今回の実施となりました。午前中は、研究・開発についての考え方やIoT技術の活用例についての講義を受けました。午後からは、Arduino(マイコンボード)を用いたプログラミングと計測の基本についての実験に取り組みました。最初はうまく動かなかったプログラミングが、思教吉岡の末に動いたときの生徒の嬉しそうな表情が印象的でした。



科学プレゼン研修

第2学年

9月18日(金)、長崎大学大学院より菅沼志郎教授をお迎えし、数理探究科2年生を対象に科学プレゼン研修を実施しました。先生の見事な語り口と具体例を示しながらの説明に生徒はどんどん引き込まれていきました。その中でももっとも印象に残ったものとして生徒が挙げていたのが次の言葉です。

「プレゼンテーションとは、相手に自分の『研究内容』『考え』『提案』をプレゼンすること」

間もなく、ポスター作成に取り組む数理探究科2年生ですが、この研修をことあるごとに思い出してほしいプレゼンテーションを行うものと思います。



〈スライド・ポスター作成6提案〉

- ①1項目1スライドで構成
- ②項目に記述をふみ加
- ③見たい箇所、流れに図形
- ④文章よりも目録の音読
- ⑤キーフレーズは繰り返しOK
- ⑥プレゼンは苦行にあらす

〈口頭発表6提案〉

- ①聞き手にお尻を向けない
- ②話し言葉で
- ③話し言葉で
- ④ゆっくりと・はっきりと
- ⑤実践練習(原稿を見える)
- ⑥音量大・美しさを低く共有する

最後に菅先生直伝のプレゼン6提案をまとめてみました。皆さんも参考にしてください。

数理探究科 活動紹介

地域連携講座

第1学年

9月17日(木)、数理探究科1年生は、地域連携講座「郷土の自然を探る～水質調査」を実施しました。長崎大学環境科学部の飯岡雅文准教授に講師をお願いし、本校を取り巻く環境(水環境)について、フィールドワークを行いました。〈生徒感想より(一部抜粋)〉

プラントンの観察や水質調査では、班員が協力し合い活動することができ、印象に残る実習でした。見た目は濁って汚そうな水が、澄んでいる水よりも実はきれいだったということが多く、とても興味深かったです。もっといろいろな水について調べてみたいと思いました。



長崎県立大学高大連携理科実験

第2学年

9月16日(水)、数理探究科2年生は、長崎県立大学の看護実務学部にて「発酵食品の醸造に関与している微生物の観察」と「ラットの解剖と臓器からのDNA抽出」の2班に分かれて、実験を行いました。生徒感想の一部を紹介します。「実際にコウジカビを用いての甘酒作りは興味深かったです。」印象に残っているのは、無菌室で加熱滅菌作業を実際に体験させてもらったことです。とても楽しく実習ができました。「今回の実習は、人生はじめての解剖で、最初はとてもドキドキしました。かわいいラットを解剖するのは悲しかったですが、臓器の位置や構造、肺に空気を入れたときの膨らみ方など多くのことを学びました。」

このように、数理探究科では、専門機関での実験・実習を体験し、自然科学への興味関心を高め、進学や就職に結び付け活動を実践しています。



五教祭「ショウ展」～keep smiling in our space～

10月13日(火) 実施

今年は「ショウ展」をテーマに1年生はリモートによる学級発表、2年生はモザイクアートの展示、そして3年家政科によるファッションショーが行われ、様々な制限がある中でも生徒の笑顔あふれる1日となりました。



第74期 大村高等学校生徒会総務委員

令和2年度生徒会総務が決定しました。

6月16日に行われた生徒会総務委員選挙の結果、第74期の生徒会総務委員が決定しました。互選の結果による、新しい役職と各種委員会担当者は以下の通りです。

会長・副会長

会長	毛利 仁音 都 中
副会長	高比良 春奈 玖島 中
副会長	尾崎 美雨 都 中

委員会担当者

美化	城 関 さくら 玖島 中
生活	西田 瑞生 桜が原 中
文化・玖城	高 月 光 喜々津 中
文化・玖城	松崎 美海 西大村 中
文化・玖城	江藤 優奈 都 中
体育	永尾 真臣 波佐見 中
体育	福岡 里音 玖島 中
体育	畑上 紗奈 西大村 中
保健	栗田 柚葉 諫早 中
交通	岩永 凌月 萱瀬 中
交通	通立 石雪 乃 桜が原 中
一役	久保 優也 明峰 中
家庭クラブ	佐 伸 優 葉 明峰 中

放送部 今年も全国大会で大活躍

**全国高総文祭
(2020 とうち総文)**
放送部門(アナウンス)
優秀賞(最高賞)受賞

放送部3年：山口雄大
(千緑中出身)

この夏、高知県で開催される予定だった全国高等学校総合文化祭がWeb上で開催され、私はアナウンス部門で昨年の佐賀大会に続いて優秀賞(最高賞)を受賞することができました。Web開催ということで、校内で録音したものを送付しただけなので、昨年と比べるとどうしても実感は薄いのですが、最後に再び最高の成績(全国1位賞)で終わることができ、とても嬉しいです。

ここまで指導してくださった顧問の木村先生・岡本先生はもとより、県内の多くの放送部顧問の先生方、ともに闘った校内外の放送部員に心から感謝しています。ありがとうございました。



クラスマッチ

みなさん、7月に行われたクラスマッチは楽しかったですか？ 私自身、初の試みで不安なことだらけでしたが、当日、皆さんの笑顔を見ることが出来て嬉しかったです。今年のクラスマッチは新型コロナウイルス感染防止のため、例年通りの実施ではなく、種目を抑えて行われました。新しい種目はルール決めから行わなければならず、総務委員で話し合い、どうすればみなさんに楽しんでもらえるか試行錯誤しました。当日を迎えるまで、不安で頭がいっぱいでしたが、たくさんの方の協力のおかげで成功させることが出来ました。私は、今年度の生徒会総務委員選挙の時に1つ大きな公約を立てました。それは、「1つでも多くの行事を成功させること」です。この公約通り、クラスマッチを成功させることが出来たと思います。次は冬のクラスマッチに向けて頑張ります！ 次も必ず成功させます！ みなさん、楽しみ準備をしていてくださいな！

(生徒会総務 2年2組 畑上紗奈)



体育祭2020



大志創生

The show must go on

応援の部 優勝

青ブロック

團長 岡本 海樊

今年度の体育祭は新型コロナウイルス感染防止のため規模が縮小されましたが何と実施することができました。これも企画運営に携わった生徒の皆さんや日々指導してくださった先生方のおかげだと思えます。体育祭という高校生活の大きな思い出を作ることであったには感謝しておしこませます。

さて、今回、応援の形で青団が1位を占めることになりましたが、それには3つの理由があると思います。後輩の皆さんは来年度の参

ことについてだ。1月7日は、向振リーダーをはじめとする生徒会委員の仲が良かった
 ことにあると思う。楽しみながら練習に取り組むことができたことは成功
 に大きなつながりだと思える。3月1日はメリハリです。やるべき
 ことはしっかりと、休む時はしっかりと。練習でも補助しました。3月8日
 こと、覚えるスピード。毎日のように練習を繰り返す聞いてくたさうと、日
 先生方の支えです。ことにくたりしたのを青団が重いものに仕立て
 うドバイです。うまいことつたのにはこと3月だけではないと思え
 こと。練習の皆さんもいろいろ試行錯誤して、来年はもっと良いもの
 こと。とてだ。



3年1期



3年2組



3年3組



3年4組



3年5組



3年6組



3年7組



3年总结

總合優勝

赤ブロック

團長 谷川 優咲

私たちがアロックス体育寮を成功させるため、毎日全力で練習に取り組みました。応援練習では、応援団は何をすればいいかとどうやら始めたので、一般生徒と応援団はほぼ同時に練習を行いました。そんな中でも3年生のみならず、2年生の応援団が熱心に練習してくれたおかげで、ぎりぎり本番に間に合うことができました。特に本書では、演目はもちろん声出しも練習以上のものを見せることができてよかったです。



仮装の部 優勝

3年1組

私たちがこの装置で最も重要視したのは、観客の目にどれだけの「健全な健全さ」に輝いているかが映る点、ということです。そのために、見えるままに減らし、完成度と真実さのためにあつちのチームに分けました。自分と一緒に踊ったチームの人は、ダンスは得意ではない人ばかりです。その仲間うち全員が楽しそうに踊れるかどうかは完成度ばかりでなく、自然と見えてくる人ばかりです。まず、家で練習していた人ばかりです。予想より上達早く、その結果、全員が楽しみなやら踊れるうちにになりました。その後、体育祭本来の動きとパフォーマンスを両立させることが出来ました。正直、表彰されるまで、服装に表彰があることを忘れていました。賞状が貰えなかったのも、1組全員で輝いたことが一番嬉しかったです。

(3年 / 越田中 元)